

作成日 2014年12月15日
改訂日 2021年7月30日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名)	スーパーレヂューサー
会社名	三星インキ株式会社
住所	〒592-8341 大阪府堺市西区浜寺船尾町東1-103
担当部門	研究室
電話番号	072-261-8161
FAX番号	072-264-1421
整理番号	SG109010

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	区分2B
	生殖細胞変異原性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分2
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1
環境に対する有害性		-

※) 上記に記載がない項目は『分類できない』あるいは『区分に該当しない』

GHSラベル要素
シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害
皮膚刺激
眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
臓器の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

使用に際して、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

安全対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- ・取扱い後はよく手を洗うこと
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

応急措置

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること
- ・皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること

保管

- ・施錠して保管すること

廃棄

- ・都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
補助剤

成分	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS番号
鉍 油	80-90	あり	あり
その他助剤	10-20	あり	あり

労働安全衛生法第57条の2項 通知対象物質

: 鉍油

4. 応急処置

吸入した場合

気分が悪くなった場合は新鮮な空気の場所で安静を保ち、必要なら医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で十分に洗い落とすこと。

目に入った場合

もし皮膚に炎症を起こした場合は、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに清浄な水で注意深く洗い、眼の刺激が続く場合は医師の診断を受けること。
無理に吐き出させずに、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、泡、二酸化炭素、水、乾燥砂、霧状の強化剤

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

容器等はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急措置

屋内の場合は処理が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には保護具を着用すること
風下の人を退避させる。

漏出した場所の周囲にロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

漏出したものは空容器にできるだけ回収し、その後を多量の水で洗い流す。

その場合は中性洗剤等の分散剤を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体排気

屋内作業所で使用の場合は発生源の密閉化、または全体換気装置を設置する。

安全取扱い注意事項

使用の都度容器を密閉する(乾燥・皮膜防止の為)。

作業衣等に付着した場合はその汚れを落とす。

取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

この製品を拭き取ったウエス等は、速やかに焼却または廃棄する。

保管

適切な保管条件

指定数量以上の場合は、火災予防条例に従う。
着火源から離して保管する。
直射日光が当たらないように保管する。
換気の良い冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の管理濃度

設定されていない

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
鉱油	—	3mg/m ³ (オイルミスト)	5mg/m ³ (オイルミスト)

設備対策

ミストおよび蒸気が発生する場合は排気装置を設ける。

保護具

呼吸器の保護具

ミストおよび蒸気が発生する場合はマスクを使用する。

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

ペースト状

色

特定できない

臭気

油臭

沸点・初留点

情報なし

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

40℃(ミネラルスピリットとして)

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

溶解度

水に難溶、有機溶剤に可溶

蒸気圧

情報なし

密度及び/又は相対密度

1.0-1.2

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

成分の物理的及び化学的性質

	沸点	引火点	発火点	密度	水への溶解性	爆発限界
鉱油	240-424℃	145℃	315℃以上	0.987	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

空気と接触して徐々に酸化重合する

避けるべき条件

酸、アルカリにより分解する

危険有害な分解生成物

一酸化炭素

11. 有害性情報

製品としての有害性情報

: 製品としての情報なし

成分の有害性情報

	急性毒性(経口)	急性毒性(経皮)	急性毒性(気体)	急性毒性(蒸気)
鉱油	区分に該当しない	区分に該当しない	分類対象外	分類できない

	急性毒性(ミスト)	皮膚腐食性・刺激性	眼に対する重篤な損傷	呼吸器感作性
鉱油	区分4	区分2	区分2B	分類できない

	皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
鉍 油	分類できない	区分1A	分類できない	分類できない

	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
鉍 油	区分2	区分1	区分に該当しない

12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報

	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)	オゾン層への有害性
光反応開始剤	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13. 廃棄上の注意

都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託し処理する。
容器・機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
横転しても内部が流出しないように密栓すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

国連番号

陸上規制情報

海上規制情報

航空規制情報

該当なし

消防法・労働安全衛生法・毒劇法等に定められている運送方法に従う。

船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

消防法 火災予防条例

労働安全衛生法

通知対象物質 第57条の2

施行令 有機溶剤中毒予防規則

特定化学物質障害予防規則

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

危険物第4類第3石油類(非水溶性液体)

鉍油(80-90%)

非該当

非該当

非該当

非該当

16. その他の情報

参考文献および資料

・ACGIH

・日本産業衛生学会

・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース

・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

・国際化学物質安全性カード(ICSC)

・原材料の安全データシート

・日本規格協会 JIS Z 7252:2019『GHSに基づく化学品の分類方法』

・日本規格協会 JIS Z 7253:2019『GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)』

・製品安全データシートの作成資料 改訂4版 JIS Z7253:2012対応

(印刷インキ工業連合会)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料・データ・情報に基づいて作成しています。

法令の改正及び新しい知見・情報により、予告なしに改訂される事があります。

『製品安全データシート』は安全保証書ではありません。

取り扱う場合は、使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じて下さい。